

2023年 法政大学 日本学生支援機構奨学金

スカラネット下書き用紙記入要領
・スカラネット入力要領

定期採用マニュアル-学部

申請書類提出期限 4月20日(木) 消印有効

■ 定期採用手続中の連絡

提出書類の不備不足や内容確認が必要な場合、申請書類に記入している学生本人の電話番号（携帯）に連絡します。
着信をよく確認してください。

法政大学 奨学金 事務処理センター（4月～6月期間限定開室）
【**03-3264～●●●●**】から始まる電話番号から架電します。

■ 奨学金採用後の手続きについて

初回振込日から3週間後に採用書類一式を交付します。
（本学に登録の保証人様宛に郵送します）

■ 本手続きに関する問い合わせ

法政大学 奨学金事務処理センター
03-3264～4497（4月～6月期間限定開室）

書類申請から書類作成

給付

貸与

申請書類申請

大学の資料請求フォームから申請書類を請求。
申請期限がありますので、ご注意ください。

書類到着

到着したらすぐに開封し、『奨学金ガイドブック（本学作成）』
『定期採用マニュアル（本マニュアル）』や『奨学金案内（日
本学生支援機構）』等の資料を熟読してください。

出願内容の決定

奨学金の種類・月額・保証制度など奨学金を申込む上で決め
なくてはならないものがあります。
必ず親御さんと一緒に考え、決めるようにしてください。

提出書類の用意

到着した書類の内容を確認し、提出書類一式を準備、送付し
てください。
また、収入に関する証明書や特別控除に関する証明書の提出
が必要な場合は、本学指定様式に添付のうえ提出してください。

スカネット下書き作成

この要領のP.6以降を読みながらスカネット下書き用紙を
全て記入してください。

申請書類申請期限:4月13日(木) 15:00

書類作成からスカラネット入力

給付

貸与

申請書類提出



申請書や提出準備が整った書類を本学へ郵送します。

郵便番号 102-8160

東京都千代田区富士見 2-17-1 法政大学

法政大学 奨学金集中事務処理センター 定期採用係 行

レターパックなど記録が残り配達状況が確認できる方法で送付してください。

IDPW受理



本学に申請書類が到着しましたら、スカラネット入力に必要なIDとパスワードをメールで送付します。

(4月21日以降の送付を予定しています)

スカラネット入力

全て記入した**スカラネット下書き用紙**をもとにスカラネット入力をしてください。

ID・パスワード送付時に案内がある入力期限までに入力を終わってください。

期限を過ぎた場合、審査が進まず奨学金の推薦をすることができませんのでご注意ください。

申請書類提出期限:4月20日(木) 消印有効

スカラネット入力後の手順

給付

貸与

マイナンバー送付

スカラネット入力後1週間以内



マイナンバー提出書セットの中にある、「マイナンバー(個人番号)の提出方法」を参考に、

簡易書留で**日本学生支援機構宛**に送付する
例年、マイナンバーを送らずに不採用となる学生がいます。
入力後の送付を忘れずに行ってください。

不備解消(該当者のみ)



書類審査に伴い、確認事項や書類の不足が発覚した場合、
審査担当より申請者(学生)へご連絡します。

※学生の携帯電話へ連絡がいきます。必ず申請者(学生)本人が
対応してください。
※申請者多数の為、不備の有無を確認するお電話にはお応えできません。

採否発表 7月11日

採用が決定した場合は、**7月11日(火)**にスカラネットに入力した
銀行口座へ奨学金が振込まれます。必ず確認をしてください。

※採否結果について
法政大学情報ポータルサイトへ掲載します。
詳細は、奨学金ガイドブックP41を参照してください。

マイナンバー送付期限:スカラネット入力後1週間以内

スカラネット下書き用紙の記入について

◆スカラネット入力下書き用紙について

【給付のみ】

または【給付と貸与】の申込みを希望する方
⇒給付奨学金案内(ブルーの冊子)に挟まっている、
『スカラネット入力下書き用紙
【給付奨学金（貸与同時申込み）用】』を使用 ➡

2023年度在学用
給付奨学金案内
大学・短期大学・専修学校専門課程・私立大学・私立短期大学・私立専修学校専門課程
※下書き用紙に挟まっている内容は2023年1月現在のものです。実際の表示とは異なる場合があります。

スカラネット入力下書き用紙
【給付奨学金（貸与同時申込み）用】
給付奨学金と貸与奨学金の両方、又は給付奨学金のみを希望し、この「スカラネット入力下書き用紙」で、この下書き用紙に給付奨学金及び貸与奨学金それぞれに関する説明があり、希望する奨学金の種類によって奨学金の申込みが完了します。申込みが完了したら、申込みの完了確認画面が表示されます。申込みの完了確認画面が表示されたら、申込みの完了確認画面に表示されているURLにアクセスしてください。

スカラネットURL: <https://www.sas-net.jp/>
受付時間: 8:00~25:00 (受付開始日は8:00~24:00)
申込みの完了確認画面が表示されたら、申込みの完了確認画面に表示されているURLにアクセスしてください。

氏名: _____ 学号: _____ 学年: _____ 性別: _____
〒 _____ 市町村: _____ 区: _____ 町: _____ 丁目: _____ 番: _____ 号: _____
Eメール: _____

【スカラネット入力の前に、事前に確認する事項】
申込みの完了確認画面が表示されたら、申込みの完了確認画面に表示されているURLにアクセスしてください。

【スカラネット入力内容の記入】
申込みの完了確認画面が表示されたら、申込みの完了確認画面に表示されているURLにアクセスしてください。

【貸与のみ】の申込みを希望する方

⇒貸与奨学金案内(ピンクの冊子)に挟まっている、
『スカラネット入力下書き用紙
【貸与奨学金のみ申込み用】』を使用 ➡

2023年度在学用
貸与奨学金案内
大学・短期大学・専修学校専門課程・私立大学・私立短期大学・私立専修学校専門課程
※下書き用紙に挟まっている内容は2023年1月現在のものです。実際の表示とは異なる場合があります。

スカラネット入力下書き用紙
【貸与奨学金のみ申込み用】
貸与奨学金のみを希望し、この「スカラネット入力下書き用紙」で、この下書き用紙に貸与奨学金に関する説明があり、希望する奨学金の種類によって奨学金の申込みが完了します。申込みが完了したら、申込みの完了確認画面が表示されます。申込みの完了確認画面が表示されたら、申込みの完了確認画面に表示されているURLにアクセスしてください。

スカラネットURL: <https://www.sas-net.jp/>
受付時間: 8:00~25:00 (受付開始日は8:00~24:00)
申込みの完了確認画面が表示されたら、申込みの完了確認画面に表示されているURLにアクセスしてください。

氏名: _____ 学号: _____ 学年: _____ 性別: _____
〒 _____ 市町村: _____ 区: _____ 町: _____ 丁目: _____ 番: _____ 号: _____
Eメール: _____

【スカラネット入力の前に、事前に確認する事項】
申込みの完了確認画面が表示されたら、申込みの完了確認画面に表示されているURLにアクセスしてください。

【スカラネット入力内容の記入】
申込みの完了確認画面が表示されたら、申込みの完了確認画面に表示されているURLにアクセスしてください。

スカラネット下書き用紙の記入について

◆スカラネット入力下書き用紙について

以降の説明ページの右上に **給付** **貸与** と表記しています。

給付を希望する方は **給付** が表記されているページを確認してください。

貸与を希望する方は **貸与** が表記されているページを確認してください。

給付と貸与を希望する方は全てのページを確認してください。

※本要領内の見本画像は

『スカラネット入力下書き用紙【給付奨学金（貸与同時申込み）用】』

を使用して説明を行っていきます。

貸与のみの方は『スカラネット入力下書き用紙【貸与奨学金のみ申込み用】』に置き換えて確認をしてってください。

スカラネット入力下書き用紙 P.1

給付

貸与

※下書き用紙に表示している内容は2023年1月現在のものであり、実際の表示とは異なる場合があります※

2023年度 スカラネット入力下書き用紙 【給付奨学金（貸与同時申込み）用】



給付奨学金と貸与奨学金の両方、又は給付奨学金のみを申し込む際の「スカラネット入力下書き用紙」です。この下書き用紙には給付奨学金及び貸与奨学金それぞれに関する設問があり、希望する奨学金の種類によって回答の必要な設問が異なります。給付奨学金のみを申し込む人は、青色背景の設問のみに答えてください。給付奨学金と貸与奨学金の両方を申し込む人は、青色背景と灰色背景の両方の設問に答えてください。

スカラネットURL <https://www.sas.jasso.go.jp/>

受付時間 8:00~25:00（最終締切日は8:00~24:00）

※受付時間を過ぎると画面が強制終了します。余裕をもって入力を開始してください。
入力所要時間の目安は30分~1時間です。



氏名	学籍番号	学部・学科・分野
受付番号		

【スカラネット入力の際に、手元に用意する書類】

- ・学校から受け取った識別番号（ユーザIDとパスワード）
- ・マイナンバー提出書
- ・奨学金振込口座（本人名義）の通帳などのコピー（本冊子16ページに貼り付けてください。）

【スカラネット入力内容記入欄】

識別番号入力

あなたの識別番号（学校から交付されたユーザIDとパスワード）を入力してください。

（注）パスワード入力の際は全角・半角、大文字・小文字の区別をします。

ユーザID パスワード

パスワードはスカラネット入力時は
黒丸記号での表示になります。入力
がエラーになる場合は、入力した文
字を目で見て確認できるよう、最初
にユーザID欄に入力し、それをコピ
ーして貼り付けてみてください。

奨学金学種（学校）・申込の選択

あなたはどの課程で奨学金を受けたいですか。

大学の場合の表示例

課程を選択してください。

申込み奨学金を選択後、「次へ」ボタンを押してください。

（1）定期採用（1次又は2次）給付奨学金・貸与奨学金

・現在在学している大学での奨学金を申込みことができます。

（2）兼計奨学金採用（給付奨学金のみ）

○ 生計維持者に特定の事由が生じたことで兼計給付、給付後の収入状況が住民税情報に
反映される前に支援を受ける場合のみ申し込むことができます。
【学校で申込資格を確認してください】

注意！

「定期採用」を選んでいることを再
度確認してください。誤って他の選
択肢を選ぶと、選考の対象にならず、
申込をやり直す必要が生じます。

高等専門学校の場合の表示例

申込み奨学金を選択後、「次へ」ボタンを押してください。

（1）定期採用（1次又は2次）給付奨学金・貸与奨学金

・現在在学している高等専門学校での奨学金を申込みことができます。

（2）兼計奨学金採用（給付奨学金のみ）

○ 生計維持者に特定の事由が生じたことで兼計給付、給付後の収入状況が住民税情報に
反映される前に支援を受ける場合のみ申し込むことができます。
【学校で申込資格を確認してください】

注意！

「定期採用」を選んでいることを再
度確認してください。誤って他の選
択肢を選ぶと、選考の対象にならず、
申込をやり直す必要が生じます。

大学（通信課程）の場合の表示例

申込み奨学金を選択後、「次へ」ボタンを押してください。

（1）定期採用（夏季スクーリング又は冬季スクーリング）

・現在在学している大学での奨学金を申込みことができます。

（2）兼計奨学金採用（給付奨学金のみ）

○ 生計維持者に特定の事由が生じたことで兼計給付、給付後の収入状況が住民税情報に
反映される前に支援を受ける場合のみ申し込むことができます。
【学校で申込資格を確認してください】

注意！

「定期採用」を選んでいることを再
度確認してください。誤って他の選
択肢を選ぶと、選考の対象にならず、
申込をやり直す必要が生じます。

氏名・学籍番号記入

※学部・学科・分野は正しい名称を記入すること

スカラネット入力後に表示される受付 番号を記入

⇒この番号が表示されない場合は
申込みが受付されていない可能性
があります。

識別番号入力

ユーザID・パスワードは、申請書類送
付後、大学より配付するメール『入力
許可証(ID・パスワード通知書)』に記
載されているものを記入してください。

スカラネット入力下書き用紙 P.2

給付

貸与

奨学金申込専用ページ
■ログイン
申込IDとパスワードを入力して、「申込ID」ボタンを押してください。

申込ID 2 0 2 3
パスワード

(注) パスワード入力の際は全角・半角、大文字・小文字の区別をします。

○メールアドレス登録
登録するメールアドレスを入力してください。
ページ最下部の「送信」ボタンを押すと、入力したメールアドレス宛に認証コードが送信されます。
【登録するメールアドレスについて】
申込IDやパスワードを忘れた場合、申込IDの通知やパスワード初期化の認証に使用されます。迷惑メール設定をしている場合、認証メールが届かない可能性があります。(pass@ses.jasso.go.jp)からのメールを受信できるようにしてください。

○新しいパスワードの設定
初回のみ「マイナンバー提出書」に印字されているパスワードの変更が必要です。
新しいパスワードを設定してください。

【パスワードの管理について】
●第三者に開示されないよう数字や英字(生年月日、電話番号、氏名のイニシャル等)を使用しないでください。
●第三者にパスワードを教えないでください。
●第三者の目につく場所にはパスワードを記入したメモを残さないでください。
●【パスワードの作成条件】
半角の英字、数字を含む組合せであること。
8～16文字以内であること。
申込IDと異なる文字列であること。
現在登録済みのパスワードと異なるものであること。

○メールアドレス認証
入力したメールアドレスに認証コードを送信しました。
メールに記載の認証コードを入力してください。

アカウント情報登録完了と表示されたら、メールアドレスと申込IDを「給付奨学金案内」裏表紙の「おはえ書」に書き写してください。
を押すとメインメニューが表示されます。「奨学金申込」をクリックします。

STEP1
確認書兼同意書の提出
●給付奨学金の申込にあたっては、「確認書兼同意書」を「給付奨学金確認書」に、「貸付申込条件等」を「給付申込条件等」に読み替えてください。
あなた(あなたが未成年(18歳未満)の場合は、あなたと親権者または未成年後見人)は、「確認書兼同意書」に記載されている次の内容を確認・承認したうえで、署名した「確認書兼同意書」を提出しなければなりません。
●貸付申込条件等
●個人情報情報の取扱いに関する同意事項
※「個人情報情報の取扱いに関する同意事項」には、経済するとあなたの個人情報個人利用情報機関に登録される等、重要な内容が記載されています。
○提出しました。
○提出していません。
下の「経済等を表示」ボタンを押して経済等(保証委託款を含む)を確認し、了承する場合のみ、申込みを行ってください。
※経済等を確認しなければ、次の画面に進むことはできません。
次の画面に進みます。下の「次へ」ボタンを押してください。

STEP2
日本学生支援機構奨学金の案内
●給付奨学金
優れた学生等であって経済的理由により修学に困難があるもののうち、文部科学省が定める基準及び方法に従い、特に優れた者であって経済的理由により極めて修学に困難があるものと認定された者に対して支給されます。
●第一種奨学金
奨励子の奨学金で、特に優れた学生及び生徒で経済的理由により著しく修学困難者に貸与します。
●第二種奨学金
利子付きの奨学金(在学中は無利子)で、第一種奨学金よりゆるやかな基準によって選考された者に貸与します。

「マイナンバー提出書」に記載されている
申込ID・パスワードを記入
申込みデータと提出書を紐付ける情報です。
間違えないようにして下さい。

マイナンバー提出書

スカラネット(インターネット)奨学金申込用【申込ID・パスワードは「必ず入力」】

申込ID 2021096473 パスワード B2AAC4

氏名(姓) 20 年 月 日
マイナンバー
生年月日 昭和・平成 年 月 日
現在所 平 年 月 日
電話番号 (市区) 市 区 町 丁目 番 号
学校名
提出必要書類 番号確認書類と 本人確認書類 (裏面参照)
【生計維持者は、スカラネットのマイナンバー提出書とマイナンバー提出書とを提出してください。】
生計維持者
氏名(姓) 20 年 月 日
マイナンバー
生年月日 昭和・平成 年 月 日
提出必要書類 番号確認書類 (裏面参照)
生計維持者
氏名(姓) 20 年 月 日
マイナンバー
生年月日 昭和・平成 年 月 日
提出必要書類 番号確認書類 (裏面参照)

※マイナンバー提出書セット
(緑色の封筒)
の中に入っています。

「給付奨学金案内」P21、「貸与奨学金案内」P42を見ながら、画面の指示に従って
進めてください。

給付奨学金の併給調整について

給付

現在第一種奨学金を借りている方が給付奨学金を申し込むにあたって

給付奨学金と併せて第一種奨学金の貸与を受ける場合は、第一種奨学金の貸与月額は併給調整されます。

現在第一種奨学金の貸与を受けている方が、今回新たに給付奨学金を申請し採用された場合、採用された月以降の第一種奨学金の振込については停止または振込金額の調整がされますが、すでに振り込まれた給付奨学金について、返金が必要となる場合があります。

給付の支援区分変更による第一種奨学金の調整について

毎年、世帯の所得金額に基づき支援区分を確認します。支援区分が変更になった場合、第一種奨学金の金額が増減することがあります。

区分の変更があった場合は、毎年10月の振込分から反映します。

このとき、新しい支援区分に基づき、受給資格がある第一種奨学金の金額調整が行われます。

今まで給付奨学金が第Ⅱ区分で第一種奨学金が0円で振込がなかった方が、支援区分変更により「区分外」となった場合、第一種奨学金の振込が自動的に再開されます。

貸与奨学金の申し込み番号について

貸与

現在奨学金を借りている場合の申し込み番号について
(現在1年生で採用候補者となっており奨学生番号がない場合も含む)

すでに借りている奨学金	第一種奨学金	第二種奨学金
併用貸与希望 (一種二種を同時に借りる)	(10) を選択 併用貸与の要件を満たさない場合、第一種奨学金の貸与が残る	(11) を選択 併用貸与の要件を満たさない場合、第二種奨学金の貸与が残る
異なる奨学金種への変更	(8) を選択 ※3参照 第二種奨学金への変更を希望 第一種奨学金は残らない	(9) を選択 ※3参照 第一種奨学金への変更を希望 第二種奨学金は残らない
併用貸与不採用の場合異なる奨学金へ変更したい	(13) を選択 ※3参照 併用貸与が不採用だった場合、第二種奨学金への変更を希望	(14) を選択 ※3参照 併用貸与が不採用だった場合、第一種奨学金への変更を希望

※1 第一種奨学金は4月からの貸与始期です

※2 第二種奨学金は貸与始期を4月から9月まで選択できます

※3 併用貸与を希望していたが要件を満たさず異なる奨学金種へ変更となった場合、4月からすでに重複した期間振り込まれた奨学金貸与額を返還する必要があります。

貸与奨学金の申込み番号について

貸与

現在奨学金をまったく借りていない場合の申し込み番号について
(以前借りていたが、辞退や廃止などで現在受給中の奨学金がない場合も含む)

申込み番号	申し込み内容と注意事項
(1)	第一種奨学金のみ希望（給付との併給調整注意）
(2)	第一種奨学金が第一希望 第二種奨学金が第二希望 （第一種が採用されたら第二種は不要）
(3)	第二種奨学金のみ希望（貸与総額に注意）
(4)	第一種奨学金と第二種奨学金との併用で採用されなかった場合、奨学金を借りない（併用以外一種も二種も不要）
(5)	併用貸与が不採用だった場合、第一種奨学金のみ希望
(6)	併用貸与が第一希望 第一種奨学金が第二希望 第二種奨学金が第三希望

スカラネット入力下書き用紙 P.4

給付

貸与

貸与のみの方はP.5

③ あなたの在学情報

(2) 学籍番号 7桁 (例: 23C9999)

※間違えないように注意してください。

(3) 所属学部名をプルダウンで選択

(4) 専攻科・別科の確認は『いいえ』を選択

(5) 学年は<入学・卒業予定年月早見表>
を参照し記入
編入学の場合は、編入した学年を記入
※下書きのページ内、右側にある注釈を
よく読んでください。

(6) 昼夜課程は『昼 (昼夜開講含む)』を選択

通学課程の場合

1. 給付奨学金の新規申込みを希望しますか。
○希望します
○希望しません

※給付奨学金の対象者は、進学先の大学等において別途申込みをすることで授業料や入学料の減免を受けられます。
参考：支給月額一覧 (PDF)

2. 貸与奨学金 (月額：第一種奨学金 (国・公立)、第二種奨学金 (私立)) の新規申込みを希望しますか。
○希望します
○希望しません

3. あなたの希望する貸与奨学金を1つ選択してください。
○(1) 第二種奨学金のみ希望します。
○(2) 第二種奨学金のみ希望します。
○(3) 第一種奨学金及び第二種奨学金との併用貸与を希望します。

③-あなたの在学情報 大学の場合

1. 学校

(1) あなたの学校名を確認してください。 (1) ××大学

(2) あなたの学籍番号を記入してください。 (2) (半角英数字記号) []

(3) あなたの在学している学部 (科) 名を選択してください。 (3) []

(注) 短期大学・専修学校に在学している方は学校の指示にしたがって選択してください。

(4) あなたは専攻科または別科に在学していますか。 (4) いいえ ○専攻科 ○別科

(5) 学年を記入してください。 (5) (半角数字) [] 学年

(6) 昼夜課程を選択してください。
(6) ○昼 (昼夜開講含む) ○夜 ○通年スクーリング ○昼間スクーリング

(7) 現在通っている学校の1年次に入学した。 (同一校で転学部・科している場合を含む)
→入学した年月: 西暦 (半角数字4桁) [] 年 [] 月

②現在通っている学校の2年次以上の学年 (課程) に、他の学校から編入学又は転学した。
(以下の3つの年月を全て記入してください)
→現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校へ入学した年月: 西暦 (半角数字4桁) [] 年 [] 月
→現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月: 西暦 (半角数字4桁) [] 年 [] 月
→現在通っている学校へ編入学又は転学した年月: 西暦 (半角数字4桁) [] 年 [] 月

③現在通っている学校の2年次以上の学年 (課程) に、他の学校から編入学又は転学した (編入学又は転学の前在学していた学校 (大学、短大、高等、専門学校) が2つ以上ある)。
(以下5つの年月を全て記入してください)
【1回目の編入学】
→2回目の学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校へ入学した年月: 西暦 (半角数字4桁) [] 年 [] 月
→2回目の学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月: 西暦 (半角数字4桁) [] 年 [] 月
→2回目の学校へ編入学又は転学した年月: 西暦 (半角数字4桁) [] 年 [] 月
【2回目の編入学】
→現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月: 西暦 (半角数字4桁) [] 年 [] 月
→現在通っている学校へ編入学又は転学した年月: 西暦 (半角数字4桁) [] 年 [] 月

短大・専門学校の場合は、以下のとおり説明が変更になります。この説明において、あなたが在籍している学校が、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の認定を受けているかを「認定専攻科の設置」を「いいえ」又は「いいえ」を選択してください (いいえ)を選択した場合、給付奨学金の支給対象外です。

(4) あなたは正規の課程を修了後に専攻科に在学していますか。
○はい ○いいえ

上記で「はい」と答えた人にお聞きします。
あなたが在籍する専攻科は、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構のページ (リンク) (PDF) 認定専攻科の設置を「いいえ」又は「いいえ」を選択してください (いいえ)を選択した場合、給付奨学金の支給対象外です。

高等専門学校の場合は、以下のとおり説明が変更になります。この説明において、あなたが在籍している学校が、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の認定を受けているかを「認定専攻科の設置」を「いいえ」又は「いいえ」を選択してください (いいえ)を選択した場合、給付奨学金の支給対象外です。

(4) あなたは正規の課程を修了後に専攻科に在学していますか。
○はい ○いいえ

上記で「はい」と答えた人にお聞きします。
あなたが在籍する専攻科は、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構のページ (リンク) (PDF) 認定専攻科の設置を「いいえ」又は「いいえ」を選択してください (いいえ)を選択した場合、給付奨学金の支給対象外です。

4

スカラネット入力下書き用紙 P.4

給付

貸与

貸与のみの方はP.5

(7) 通常入学の方は、
①に入学年月を記入
他学校から編入学・転学をした方は
②または③の内容を記入

通信課程の場合

1. 初年度入学の新規申込みを希望しますか。
☐希望します
☐希望しません
※給付奨学金の対象は、進学先の大学等において別添の通知を受けることで授業料や入学金の減免を受けられます。
参考：支給月額一覧（PDF）

2. 貸与奨学金（月額：第一種奨学金（無利子）、第二種奨学金（有利子））の新規申込みを希望しますか。
☐希望します
☐希望しません

3. あなたが希望する貸与奨学金を1つ選択してください。
○(1) 第一種奨学金のみ希望します。
○(2) 第二種奨学金のみ希望します。
○(3) 第一種奨学金及び第二種奨学金との併用貸与を希望します。

③-あなたの在学情報 大学の場合

1. 学校
(1) あなたの学校名を確認してください。 (1) ××大学
(2) あなたの学籍番号を記入してください。 (2) (半角英数字4桁)
(3) あなたの在学している学部（科）名を選択してください。 (3)
(注) 短期大学・専修学校に在学している方は学校の指示にしたがって選択してください。
(4) あなたは専攻科または別科に在学していますか。 (4) ☐はい ☐いいえ ☐専攻科 ☐別科
(5) 学年を記入してください。 (5) (半角数字) 学年
(6) 昼夜課程を選択してください。 (6) ☐昼 ☐夜 ☐通年スクーリング ☐昼間スクーリング

(7) 現在通っている学校への入学について、次の①-③のうち該当するものを選択し、入学年月等を記入してください。
●①現在通っている学校の1年次に入学生した。（同一校で転学部・科している場合を含む）
→入学した年月： 西暦（半角数字4桁） 年 月
●②現在通っている学校の2年次以上の学年（課程）に、他の学校から編入学又は転学した。（以下の3つの年月を全て記入してください。）
→現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校へ入学した年月： 西暦（半角数字4桁） 年 月
→現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月： 西暦（半角数字4桁） 年 月
→現在通っている学校へ編入学又は転学した年月： 西暦（半角数字4桁） 年 月
●③現在通っている学校の2年次以上の学年（課程）に、他の学校から編入学又は転学した（編入学又は転学する前に在学していた学校（大学、短大、高専、専門学校）が2つ以上ある。）
(以下5つの年月を全て記入してください。)
【1回目の編入学】
→2回目の学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校へ入学した年月： 西暦（半角数字4桁） 年 月
→2回目の学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月： 西暦（半角数字4桁） 年 月
→2回目の学校へ編入学又は転学した年月： 西暦（半角数字4桁） 年 月
【2回目の編入学】
→現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月： 西暦（半角数字4桁） 年 月
→現在通っている学校へ編入学又は転学した年月： 西暦（半角数字4桁） 年 月

短期大学及び高等専門学校の人は、以下のとおり説明が変更になります。この説明において、あなたが在籍している専攻科が、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の認定を受けているかを「認定専攻科（認定）」で確認し、「はい」又は「いいえ」を選択してください（「いいえ」を選択した場合は、給付奨学金の対象外となります）。
(4) あなたは正規の課程を修了し、現在通っている学校に在学していますか。 ☐はい ☐いいえ
上記で「はい」と答えた人にお聞きします。
あなたが在籍する専攻科は、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構に認められた認定専攻科ですか。
☐はい ☐いいえ

短期大学及び高等専門学校の場合は、以下のとおり説明が変更になります。
(6) あなたの入学年月を記入してください。
西暦（半角数字4桁） 年 月 入学
(7) 現在通っている学校の4年次へ進級した年月を記入してください。
西暦（半角数字4桁） 年 月
短期大学の場合は「(4) あなたは専攻科または別科に在学していますか」と表示されます。

(8) 正規の卒業予定期

2023年4月時点での卒業予定期を記入

休学などの経歴がない学生

1年：2027年3月 3年：2025年3月
2年：2026年3月 4年：2024年3月

(9) 正規の修業年月

全員「4年0か月」と記入

(8) あなたの正規の卒業予定年月を記入してください。
(8) 西暦（半角数字4桁） 年 月 卒業予定
(9) あなたの正規の修業年数を記入してください。
(9)（半角数字） 年 月

<入学・卒業予定年月早見表>

修業年限	入学年月	卒業予定年月
2年		2025/3
3年		2026/3
4年	2023/4	2027/3
5年		2028/3
6年		2029/3

修業年限	入学年月	卒業予定年月
3年		2024/3
4年		2025/3
5年	2021/4	2026/3
6年		2027/3

(8) あなたの正規の卒業予定年月を記入してください。
(8) 西暦（半角数字4桁） 年 月 卒業予定
(9) あなたの正規の修業年数を記入してください。
(9)（半角数字） 年 月

(8) あなたの正規の卒業予定年月を記入してください。
(8) 西暦（半角数字4桁） 年 月 卒業予定
(9) あなたの正規の修業年数を記入してください。
(9)（半角数字） 年 月

※長期履修学生について

長期履修学生（「給付奨学金案内」5ページ参照）については、原則として奨学金を受けることのできる期間は通常課程の標準修業年限に相当する期間のみとなります。この場合、卒業予定年月は通常課程の卒業予定年月を、修業年数は通常課程の標準修業年数を記入のうえ、学校担当者へ申し出てください。

(2023年4月入学者の例)

通常課程の標準修業年限は2年・卒業予定年月は2025年3月
3年かけて履修し2028年3月が卒業予定年月となる長期履修学生
→卒業予定年月は2025年3月・修業年数は2年0か月と入力してください。

なお、第二種奨学金の場合は、採用後に所定の手続きを行うことによって学期に定める「長期履修課程の修業年限の延長まで」貸与を延長することができます。詳しくは、学校に相談してください。

(10) あなたの通学するキャンパスのある住所を入力してください。

※郵便番号を入力して「住所検索」ボタンを押しても住所が自動入力されない場合は、郵便局ホームページから住所をもとに郵便番号を検索し、本画面に入力してください。

住所 1（自動入力）
住所 2（番地以降）（全角文字）

(11) あなたの通学形態を選択してください。

※社会的費を必要とする人が、児童養護施設等や家族等のもとから通学し、本人居住にかかる費用（家賃）を負担していない場合は、「自宅通学（またはこれに準ずる）」を選択してください。
※社会的費を必要とする人を含む独立生活者が居住にかかる費用（家賃）を支払っている場合は、学校までの通学距離・時間等に問わず「自宅外通学」を選択し、下記説明にて⑤及び「支障が生じる」を選択のうえ、支障が生じる理由の入力欄に（独立生活者である）等を入力してください。
※給付奨学金を希望する人が「自宅外通学」を選択した場合でも、自宅通学の月単位の振込み開始となります（給付奨学金に併せて第一種奨学金を希望する場合、第一種奨学金も自宅月単からの振込みとなります）。自宅外月単の振込みは、生計維持者（原則父母）と別居し、かつ学生本人の居住に係る費用が発生していることの証明書類（アパートの賃貸借契約書のコピー等）を学校へ提出し、不備なく審査終了してからとなります。

○自宅通学（またはこれに準ずる） ○自宅外通学

上記で「自宅外通学」を選択した人にお聞きします。「自宅外通学」が適用される要件は、次のとおりです。あなたが該当するものを全て選択してください。

いずれにも該当しない場合は、「自宅通学（またはこれに準ずる）」を選択し直してください。

- 実家（生計維持者いずれも住所）から大学等までの通学距離が片道60キロメートル以上
- 実家から大学等までの通学時間が片道120分以上
- 実家から大学等までの通学費が月1万円以上
- 実家から大学等までの通学時間が片道50分以上であって、通学時間等に利用できる交通機関の運行本数が1時間当たり1以下
- その他他やむを得ない特別な事情により、学業との関連で、実家からの通学が困難である場合

上記で「⑥その他やむを得ない特別な事情により、学業との関連で、実家からの通学が困難」と答えた人は、実家から通学した場合、学業継続に支障が生じますか。

○支障が生じる ○支障が生じない

上記で「支障が生じる」と答えた人は、支障が生じる理由を以下に記入してください。

「自宅外通学」となるあなたの現住所を入力してください。

郵便番号（半角数字） 住所 1（自動入力）
住所 2（番地以降）（全角文字）

貸与

「自宅外通学(またはこれに準ずる)」を選択した方は、適用要件へチェックし、**自宅外の住所**を記入
(書類提出が必須です)

◆住所を入力する際の注意点

(郵便番号) - 住所検索 ← 押下

住所 1 (自動入力) ○ 東京都 新宿区 市谷本村町 1丁目
 ○ 東京都 新宿区 市谷本村町 2丁目
 ○ 東京都 新宿区 市谷本村町 3丁目

住所 2 (番地以降)

- ① 郵便番号入力 [住所検索]を押下
- ② 表示された住所の一覧から住所を選択
- ③ どこまで表示されているか確認のうえで、続きの住所を全角で入力

※2023年4月以降、国費による支援を受けている場合は、日本学生支援機構の給付奨学金は0円となります。

②一貫学校費と奨学金

1. 第一種奨学金を希望する人は次のことに基づいてください。
 (1) 志望校の希望する月額を1つ選択してください。(1)

【2018年度以降入学者(2018年4月以降の入学者年を入学した人)の費と月額】

月額の 種類	大学				短期大学・専修学校（専門課程）			
	国・公立		私立		国・公立		私立	
	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外
最高月額	4751円	5111円	5541円	6741円	4751円	5111円	5531円	6741円
最低月額		4万円	4万円	4万円		4万円	4万円	4万円
以外の月額	3万円	3万円	3万円	3万円	3万円	3万円	3万円	3万円
	2万円	2万円	2万円	2万円	2万円	2万円	2万円	2万円

最高月額を利用するためには、自宅費との差
それ以外の月額を利用できる収入・資産合計額

⇒ 最高月額を選択した人は、以下の条件に基づいてください。
 費と月額〇〇円は一定の条件を満たした場合のみ貸与を受けられる月額です。
 条件を満たさなかった場合に希望する月額を選択してください。

⑤ - 奨学金貸与額情報

1. 第一種奨学金を希望する方のみ

※下書き用紙P.3にて、貸与型奨学金の申込み番号において

× (1)(2)(5)(6)(7)(8)(11)(14)を選択した方

(1) 希望する月額を選択

⇒最高月額を選択した方は、最高月額が
認められなかった場合の月額も選択

⑤- 第一種奨学金給付情報

1. 給付奨学金を希望する人は次のことに基づいてください。

(1) 給付奨学金が貸与となった場合、4月期込からの支給の停止を希望しますが、

☐ はい ☐ いいえ

「はい」と答えたい人は、停止開始を選択してください。

- 2023年4月1日時点で休学中であるため（2023年4月2日以降に休学が開始する場合は該当しません。半休後、別途手続が必要です）。
- 他団体の奨学金利用に伴い、機構の給付奨学金との併給が認められないため。
- その他

(2) なお、2023年4月以降、以下の支給を受ける予定がありますか（ハローワークや保険からある本人が受けている給付金があれば、次に該当するものがないか、必ず確認してください）。

6 2023年4月以降、以下の給付による支給を受けている期間は、日本学生支援機構の給付奨学金の額は0円となります。

- 教育訓練支援給付金【雇用保険法】
- 訓練給付金給付、技能習得手当（受給手当、通学手当、専攻手当【雇用保険法】
- 職業訓練受給給付金【職業訓練の受講等による特定求職者の就職に関する法律】
- 高等職業訓練促進給付金（ひとり親世帯の世帯主となる給付金）【母子及び父子並びに寡婦福祉法】
- 職業転換給付金・訓練手当【労働関係の総合的な推進並びに労働者の雇用の安定及び職業生活の充実等に関する法律】

☐ 支給を受けておらず受ける予定もない

☐ 支給を受けている
支給予定期間（西暦）（年）月 日 ～ 月 日

☐ 支給を受ける予定である
支給予定期間（西暦）（年）月 日 ～ 月 日

国費の一覧（文部科学省ホームページへリンク）（PDF）
※年々変わる場合、給付奨学金の全額返金を求めることがあります。

⑤- 第一種奨学金給付情報

1. 第一種奨学金を希望する人は次のことに基づいてください。

(1) 希望する月額を選択してください。

(1)

人が設置する奨学金は「貸与型」のものが多くあります。プルダウンリストから希望する額を選択してください。

【2018年度以降入学者（2018年4月以降の入学期月を入力した人）の貸与月額】

内閣府の 内閣府	大学				短期大学・専門学校（専門課程）				高等専門学校（4・5年生、専攻科）			
	国・公立		私立		国・公立		私立		国・公立		私立	
	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外
最高月額	4755円	5711円	5741円	6741円	4755円	5711円	5741円	6741円	4755円	5711円	5741円	6741円
最高月額 以外の月額	3755円	4755円	4755円	5741円	3755円	4755円	4755円	5741円	3755円	4755円	4755円	5741円
	2755円	2755円	2755円	2755円	2755円	2755円	2755円	2755円	2755円	2755円	2755円	2755円

最高月額を利用するためには、貸与奨学金の返済計画を提出している必要があります。
それぞれの月額を利用できる収入・所得金額の目安は、「貸与奨学金案内」を参照してください。

※ 最高月額を選択した人は、以下の質問に基づいてください。
貸与月額〇〇円は一定の条件を満たした場合のみ貸与を受けられる月額です。
条件を満たさなかった場合に希望する月額を選択してください。

希望の月額範囲で指定されると、第一種奨学金の貸与額は2023年4月とさせていただきます。貸与額により異なります。

自宅外通学の場合でも、自宅月額を選択することができません（入学年度により異なります）。

最高月額が認められなかった場合に希望する月額と、その最高月額以外の月額から選択してください。

貸与

※下書き用紙P.3にて、貸与型奨学金の申込み番号において
(1)(2)(5)(6)(7)(8)(11)(14)を選択した方

*貸与奨学金案内P.18、19参照

(3) 第一種貸与奨学金の再貸与希望
過去に他大で第一種奨学金の貸与を受けたことがある人は「はい」を選択し、その奨学生番号を記入

2. 第二種奨学金を希望する方

※下書き用紙P.3にて、貸与型奨学金の申込み番号において
(2)(3)(5)(6)(7)(9)(10)(13)を選択した方

(1) 第二種貸与奨学金の月額を選択

(4) 第二種貸与始期の選択

「奨学金の契約を何月分からしたいか」という質問です。

※例:『4月』を選択した場合、7月に
4月～7月分(4か月分)が振り込まれます。
『8月』を選択した場合。8月に
8月分(1か月分)振込まれます。
7月は振り込まれません。

(5) 第二種貸与奨学金の利率の算定方法
の選択 *貸与奨学金案内P.16～17参照

入学年度(入力した入学年月)により選択できる月額が異なります。

2017年度以前入学者は、最高月額の選択の制限はありません。

大学				短期大学・専門学校(専門課程)				高等専門学校(4・5年生、専攻科)			
国・公立		私立		国・公立		私立		国・公立		私立	
自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外
4万5千円	5万1千円	5万4千円	6万4千円	4万5千円	5万1千円	5万3千円	6万円	4万5千円	5万1千円	5万3千円	6万円
3万円				3万円				3万円			

(2) あなたの希望する返還方式を選択してください。

(注) 所得連動返還方式を希望する場合、保証制度は「機関保証」になります。

(2) ☐ 所得連動返還方式 ☐ 定額返還方式

(3) 第一種奨学金の再貸与を希望しますか。

(3) ☐ はい ☐ いいえ

「はい」と答えた人はこれまでに今日申込と同一学種で貸与を受けた第一種奨学金の奨学生番号を記入してください。

奨学生番号(半角数字)

第一種奨学金の再貸与を希望する人は、再貸与の制度を確認し、同意する場合のみ、申込を行ってください。

(注) 制度等を確認するまで、次の画面に進むことはできません。

☐ 同意します。

(4) あなたは「地方創生特選奨」ですか。

(4) ☐ はい ☐ いいえ

「はい」と答えた人は、推薦者決定に際して、奨学金申込時に入力するよう指示された番号を入力してください。

(半角数字)

2. 第二種奨学金を希望する人は次のことに答えてください。

(1) あなたの希望する月額を1つ選択してください。

(1) ☐ 2万円 ☐ 3万円 ☐ 4万円 ☐ 5万円 ☐ 6万円 ☐ 7万円 ☐ 8万円 ☐ 9万円 ☐ 10万円 ☐ 11万円 ☐ 12万円

(2) あなたは私立大学の医学・歯学・薬学・獣医学課程に在学していますか。

(2) ☐ はい ☐ いいえ

「はい」と答えた人でかつ12万円の月額を選択した人のみ増額月額を希望することができます。

あなたは(医・歯は4万円、薬・獣医は2万円増)を希望しますか。

☐ 4万円 ☐ 2万円 ☐ 希望しない

※貸与月額について確認してください。

あなたは、供用貸与を希望しています。供用貸与を受けると貸与総額及び毎月の返還額が多額となります。この申込手続終了後、貸与月額が適切であるか再度確認してください。

なお、第二種奨学金の最高月額を選択した場合は、「家庭事情情報」欄に第二種奨学金の最高月額を必要とする「理由」を記入いただくことになります。

ご記入いただいた「理由」については、学校担当者から確認等を行う場合があります。

☐ はい ☐ いいえ

(3) あなたは何月分から貸与を希望しますか。

(注) 奨学生採用後は貸与始期の変更はできません。

(3) 西暦(半角数字4桁) 年 月

3. 入学時特別増額貸与奨学金を希望する人のみ答えてください。

(1) あなたは入学時特別増額貸与奨学金を希望しますか。

1年次に入学した人および編入学の人のみ希望することができます。

(1) ☐ はい ☐ いいえ

「はい」と答えた人は、希望する額を選択してください。

☐ 10万円 ☐ 20万円 ☐ 30万円 ☐ 40万円 ☐ 50万円

4. 第二種奨学金または入学時特別増額貸与奨学金を希望する人は答えてください。

(1) あなたの希望する利率の算定方法を選択してください。

(1) ☐ 利率固定方式 ☐ 利率見直し方式

⑥ - あなたの履歴情報

1. 最終学籍は直近に卒業または退学した年月および学校を選択

2. 卒業した高校の国や
高等学校卒業程度認定試験について
記入

3. これまでに日本学生支援機構の
給付奨学金や貸与奨学金を
受けたことがあるかを記入

受けていた(今はすでに貸与終了している
奨学金がある)方は「はい」を選択し、
その奨学生番号を記入

※現在も継続して受けている奨学生番号は、
下書き用紙P.3で記入済みのため不要です。

STEP4

⑥-あなたの履歴情報

1. あなたの最終学籍を記入してください。

1. 西暦(半角数字4桁) 年 月 卒業または退学

2. あなたは国内の高等学校(本科)を卒業しましたか。

※ここから「高等学校」には、国内の中等教育学校の後期課程、特別支援学校の高等部、高等専門学校(第1学年から第3学年まで)又は専修学校の高等課程(修業年数が3年以上のもの)を含みます(インターナショナルスクールや在外教育施設等は含みません)。

※現在、高等専門学校の第1学年から第3学年まで在学中の場合は入力不要です。

「はい」と答えた人にお聞きします。 ☐ はい ☐ いいえ

あなたが初めて国内の高等学校を卒業した年月を記入してください。

西暦(半角数字4桁) 年 月

「いいえ」と答えた人にお聞きします。

あなたが現在通っている学校への入学前の履歴は次のうちどちらになりますか。

☐ 高等学校卒業程度認定試験合格者

☐ その他(インターナショナルスクール、在外教育施設等)

「高等学校卒業程度認定試験合格者」と答えた人にお聞きします。

あなたは高等学校卒業程度認定試験にいつ合格しましたか。

西暦(半角数字4桁) 年 月

あなたは、高等学校卒業程度認定試験の受験資格を取得した年度(16歳になる年度)から高等学校卒業程度認定試験合格者となった年度まで5年を経過していますが、5年を経過した後も毎年度高等学校卒業程度認定試験を受験してはいませんか。

☐ はい ☐ いいえ

「その他」と答えた人にお聞きします。

あなたが卒業又は修了した「その他」の学校の校名(正式名称)とその学校を卒業又は修了した年月を記入してください。

西暦(半角数字4桁) 年 月

3. 【給付】あなたはこれまでに、「日本学生支援機構の給付奨学金」(原則、必要書類)を受けていますか。(現在支給が終了しているものを含む) ☐ はい ☐ いいえ

【貸与】あなたはこれまでに、「日本学生支援機構の貸与奨学金」(第一種、第二種)を受けていますか(現在貸与が終了しているものを含む)。 ☐ はい ☐ いいえ

上のいずれかの質問で「はい」を選択した人はその奨学生番号を記入してください。

※第一種奨学金を利用している人が給付奨学金を受給する場合、貸与が凍結されます。

※貸与・給付を受けた奨学金が複数ある場合は、「追加」ボタンを押してすべての奨学生番号を記入してください。

※奨学生番号の記入を取り消す場合は、「削除」ボタンを押してください。

半角数字	前	奨学生番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	削除	追加
1		612	04	333333	9999	25	31							
2		619	08	333333	9999	25	31							
3		810	01	333333	9999	25	31							
4		815	02	333333	9999	25	31							
5														

※第二種奨学金の貸与について確認してください。

あなたは、これまでに同一の学校区分で2回以上、第二種奨学金の貸与を受けています。日本学生支援機構の奨学金により、これ以上第二種奨学金を申し込むことができない場合や借りられる期間が制限される場合があります。 ☐ 確認しました

・【3】ページの②-奨学金申込情報に入力した番号は入力しないでください。

・採用取消となった奨学生番号は入力しないでください。

・高校在学中に、都道府県等(日本学生支援機構及び日本育英会以外)から奨学金の貸与を受ける場合、入力の必要はありません(高等学校及び専修学校高等課程の奨学金は、平成17年度より日本学生支援機構から各都道府県に移管されました)。

「5年を経過した後も毎年度高等学校卒業程度認定試験を受験していた」とは、下記のような場合が該当します。

- (例) ・16歳になる年度：2013年度
- ・16歳になる年度から5年経過=2018年4月1日以降
- ・2018年度、2019年度に高等学校卒業程度認定試験受験(不合格)
- ・2020年度に高等学校卒業程度認定試験受験(合格)

※上記の例では、2018年度又は2019年度に受験していない場合、「5年を経過した後も毎年度高等学校卒業程度認定試験を受験していた」に該当しないため、申し込むことができません。

給付奨学金のみを希望する人は、⑦-保証制度の入力が必要ありません。

STEP5
⑦-保証制度
1. あなたが希望する保証制度を選択してください。

- ☐ 機関保証
- ※機関保証制度は、連帯保証人や保証人の選任が不要です（一定の保証料が毎月の奨学金から差し引かれます）。
☐ 制度の内容について承認し、機関保証を選択します。
- ☐ 人的保証
- ※人的保証制度は、選任する連帯保証人や保証人に事前に了解をとっておく必要があります。
☐ 制度の内容について承認し、人的保証を選択します。

併用又は併用で申し込み（②-奨学金申込情報で次の選択肢を選択した場合）。
(2) 第1希望：第一種奨学金 第2希望：第二種奨学金
(4) 第1希望：第一種奨学金と第二種奨学金（併用） 第2希望：第一種奨学金
(5) 第1希望：第一種奨学金と第二種奨学金（併用） 第2希望：第一種奨学金
(6) 第1希望：第一種奨学金と第二種奨学金（併用） 第2希望：第一種奨学金
(7) 第1希望：第一種奨学金と第二種奨学金（併用） 第2希望：第二種奨学金
かつ第一種奨学金の返還方法を「所得連動返還方式」と選択した場合

1. 第一種奨学金についてあなたが希望する保証制度を選択してください。

所得連動返還を希望する場合、保証制度は「機関保証」のみになります。「人的保証」は選択できません。

- ☐ 機関保証
- ※機関保証制度は、連帯保証人や保証人の選任が不要です（一定の保証料が毎月の奨学金から差し引かれます）。
☐ 制度の内容について承認し、機関保証を選択します。
- ☐ 人的保証
- ※人的保証制度は、選任する連帯保証人や保証人に事前に了解をとっておく必要があります。
☐ 制度の内容について承認し、人的保証を選択します。

⑦-保証制度

1. 人的保証または機関保証を選択

第一種奨学金を『所得連動返還方式』で希望された方は、第一種奨学金の保証制度は自動的に【機関保証】になります

第二種奨学金を併用で申し込む場合は第二種のみ人的保証を選択できます

*貸与奨学金案内P.22~26参照

返還が終了するまで、機関保証から人的保証への変更はできません

STEP6
⑧-貸与奨学金返還予約書情報・給付奨学金本人等情報
1. あなた自身について入力してください。

(1) あなたのお名前を入力してください。 (2) ○男 ○女 ○回答しにくい
(3) あなたの生年月日は××年△月○日です。 (3) 成年判定
(4) あなたの居住所を入力してください。

※申込者本人のマイナンバーを申込時に提出できない場合は、住所票住所を入力してください。

(4) 郵便番号（半角数字） 住所検索
住所1（自動入力）
住所2（番地以降）（全角文字）

(5) あなたの電話番号を入力してください。
※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。
(ハイフンなし/半角数字)
携帯電話の電話番号を入力してください。（ハイフンなし/半角数字）

住所の入力例

(郵便番号) 162-9999 (住所検索) -押下

注意！
表示された住所一覧の中から、正しい住所を選択してください。

住所1（自動入力） ○東京都 新宿区 市谷本町 1丁目
○東京都 新宿区 市谷本町 2丁目
○東京都 新宿区 市谷本町 3丁目

住所2（番地以降） 9-9 機械ハイソ 505

給付奨学金のみ希望する場合は、⑦-保証制度の入力が必要ありません。

チェックを入れないと次に進めません。

あなたのマイナンバーを提出できない場合は、住所票の住所を入力してください。郵便番号を郵便番号等住所欄に入力してください。住所1に「住所1」で表示してください。住所2は「住所2」で表示してください。住所2は「住所2」で表示してください。住所2は「住所2」で表示してください。

あなたのマイナンバーを提出できない場合は、住所票の住所を入力してください。郵便番号を郵便番号等住所欄に入力してください。住所1に「住所1」で表示してください。住所2は「住所2」で表示してください。住所2は「住所2」で表示してください。住所2は「住所2」で表示してください。

※住所、電話番号に海外の住所等を入力することはできません。連絡のとれる国内の住所等を入力してください。

固定番号と携帯番号の両方所有の
場合は両方記入

25

⑦「**保証制度**」で「**人的保証**」を選択した人
↓

2. 連帯保証人と保証人について

あなたは保証制度画面で「人的保証」を選択しています。連帯保証人及び保証人について入力してください。

(1) 連帯保証人について入力してください。

- ・原則として、父母・兄弟姉妹又はおじ・おば等に入してください。
- ・未成年者等保証能力がない人は認められません。
- ・債務整理（破産等）中の人を連帯保証人に選任することは認められません。

(a) その氏名

(a) 漢字（全角5文字以内） 姓 名

カナ（全角15文字以内）

(b) その生年月日 (b) 年 月 日生

(c) あなたとの関係 (c)

未成年者見人の場合は、その続柄

(d) その住所

・連帯保証人の印鑑登録証明書（市区町村発行）に記載されている住所を入力してください。

※印鑑登録証明書には住民票と同じ住所が記載されています。

(d) 郵便番号（半角数字） 住所検索

住所1（自動入力）

住所2（番地以降）（全角文字）

(e) その電話番号

※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

（ハイフンなし・半角数字）

その携帯電話の電話番号（ハイフンなし・半角数字）

(f) その勤務先 (f)（全角文字）

勤務先電話番号（ハイフンなし・半角数字）

※連帯保証人が無職の場合は、下記にチェックを入力してください。

☐ 無職

**※情報が誤っていた場合、採用後、修正に非常に
手間がかかるため注意すること**

【人的保証】を選択した方の画面

(2)保証人に選任する方(原則、叔父・おば等の4親等以内の親族)の氏名、住所等を記入

※住所・生年月日は、保証人の印鑑登録証明書と同じ情報を記入すること

※勤務先名・勤務先電話番号は源泉徴収票等で確認し、正しく記入すること

※情報が誤っていた場合、採用後、修正に非常に手間がかかるため注意すること

⑦-1保証制度で「人的保証」を選択した人（続き）

↓

(2) 保証人について入力してください。

原則として、4親等以内の成年親族のうち、あなた及び連帯保証人と別姓計の85歳未満の人を選んでください。

・未成年者等保証能力がない人は認められません。

・債務整理（破産等）中の人を保証人に選任することは認められません。

(a) その氏名

(a) 漢字（全角5文字以内）

姓 名

カナ（全角15文字以内）

(b) その生年月日

(b) 年 月 日 生

(c) あなたの続柄

(c) 続柄

(d) その住所

・保証人の印鑑登録証明書（市区町村発行）に記載されている住所を入力してください。

※印鑑登録証明書には住所と同じ住所が記載されています。

(d) 郵便番号（半角数字）

住所検索

住所1（自動入力）

住所2（番地以降）（全角文字）

(e) その電話番号

※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

(f) その勤務先

(f) 勤務先電話番号

※保証人が無職の場合は、下記にチェックを入力してください。

(g) 連帯保証人と保証人は別姓計です。

(g) ☐ はい ☐ いいえ

※連帯保証人、保証人に相応しい人物かどうか、入力情報を元に判定を行います。年齢による判定は、各人物の誓約書（⑦-1「あなたの氏名・誓約情報」で入力した生年月日）時点での年齢を元に判定を行います。

連帯保証人・保証人について

⑦-1保証制度で「人的保証」を選択した人は、連帯保証人及び保証人を1人ずつ（合計2人）入力する必要があります。

連帯保証人は、奨学金の返還についてあなたと同等の責任を負います。

保証人には、「分別の利益」が適用されます。また、「検索の抗弁権」及び「催告の抗弁権」があります。人には適用されません。

詳しくは、「貸与奨学金案内」を参照してください。

また、選任した連帯保証人・保証人が機構の定める条件を満たすかどうかチェックしてください。選任条件を全て満たし、かつ必要書類を提出できる場合は、連帯保証人・保証人として選任できますので、⑩～⑪ページの(1)、(2)を記入してください。

もし、1つでも選任条件を満たさない、又は必要書類を提出できない場合は、連帯保証人・保証人として選任できません。あらためて条件に合致する別の人物を選任しなおしてください。条件に合致する人物を選任できない場合は、⑦-1保証制度で「機関保証」を選択し、保証制度を変更してください。

採用時に提出しなければならない書類（返還誓約書）には、スカラネットで入力した連帯保証人及び保証人が自署・押印（実印）、印鑑登録証明書等を添付しなければなりません。スカラネット入力前に、連帯保証人・保証人として予定している人に役職、自署・押印、提出書類について説明し、奨学金の返還について引き受けることの承諾を得ておいてください。

STEP7

⑧-1あなたの家族情報

1. あなたは社会的養育を必要とする人ですか。

「はい」と答えた人は、あてはまるものを選択してください。

☐ はい ☐ いいえ

○児童養育施設入所者等

○児童自立支援施設入所者等

○児童心身障害施設入所者等

○自立援助ホーム入所者等

○児童に養育されている（いた）人

○ファミリーホームで養育されている（いた）人

2. あなたの家族の人数

(1) 家族全員（あなたを含む）の人数を選択してください。

(1) 人

18歳時点であなたは「はい」とを選択する人は、施設に入所していた、又は養育による養育を受けていたことがわかる日付が記載された証明書類の提出が必要です。

（証明書類の例）施設等入所証明書（施設長発行）、児童（児童）委託証明書（児童相談所発行）、児童相談所決定通知書（児童相談所発行）等

※機密の所定様式（施設等在籍・退所証明書）でも可。

申込者と生計が同一（同じ収入で生活している）である全員の人数です（同居別居を問いません）。収入が別の生計の児童養育施設やファミリーホームに入所している場合は、⑧-1「あなたの家族情報」の1.で「はい」とを選択した場合は自動的に1名と表示されます。

例年、印鑑登録証明書の取得に時間がかかったり（採用後に提出していただきます）、保証人の要件外であったため採用を取り消され、奨学金の返還を求められるケースが少なからず存在しています。奨学金案内を熟読し、必要な書類や選任要件を確認し、保証人になることについて承認を得るようにしてください。

⑦-保証制度で「人的保証」を選択した人（続き）

↓

(2) 保証人について入力してください。

原則として、4親等以内の成年親族のうち、あなた及び連帯保証人と別生計の65歳未満の人を選んでください。

- 未成年者等保証能力がない人は認められません。
- 債務整理（破産等）中の人を保証人に選任することは認められません。

(a) その氏名

(a) 漢字（全角5文字以内）姓 名

カナ（全角15文字以内）

(b) その生年月日 (b) 年 月 日 生

(c) あなたとの続柄 (c)

(d) その住所

保証人の印鑑登録証明書（市区町村発行）に記載されている住所を入力してください。

※印鑑登録証明書には住所と同一住所が記載されています。

(d) 郵便番号（半角数字） 住所検索

住所1（自動入力）

住所2（番地以降）（全角文字）

(e) その電話番号

※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

(f) その勤務先

(f) 勤務先電話番号

※保証人が無職の場合は、下記にチェックを入力してください。

(g) 連帯保証人と保証人は別生計です。 (g) ☐ はい ☐ いいえ

※連帯保証人、保証人に相応しい人物かどうか、入力情報を元に判定を行います。年齢による判定では、各人物の誓約日（⑦-あなたの氏名・誓約情報）で入力した生年月日時点での年齢を元に判定を行います。

あなたからみた続柄です。

(例) おじ、おば

※以下の場合は、「その他（知人等）」と記入（選択）してください。

- 離婚により親権を失った父母
- 養子縁組により親権を失った本人の養父母
- 配偶者の父母
- 祖父（母）や「その他（4親等以内）」を選択しないでください。

郵便番号を郵便局ホームページ等で住所をもとに事前に確認してください。郵便番号入力後に「住所検索」ボタンを押すと、入力した郵便番号に相当する住所が「住所1」に自動表示されますので、お住まいの住所を選択してください。「住所2」には、「住所1」で選択した住所以降を、番地等が重複しないように入力してください。

※⑨ページの「住所の入力例」参照

固定電話と携帯電話を両方所有している場合は、どちらかを入力してください。

自営業の場合は「自営業」、農業者の場合は「農」と記入してください。

無職の場合は「その勤務先」には何も入らず、ここにチェックを入力してください。

⑨-あなたの家族情報

1.社会的養護を必要とする人が回答「はい」または「いいえ」

「はい」を選択する人は施設に入所していた等のことが分かる証明書の提出が必要です。

2.あなたを含む家族人数を記入

※社会人として働きに出ている兄弟・姉妹や、生計維持者の扶養に入っていない祖父母は含みません。

⑧-あなたの家族情報

1. あなたは社会的養護を必要とする人ですか。 ☐ はい ☐ いいえ

「はい」と答えた人は、あてはまるものを選択してください。

- ☐ 児童養護施設入所者等
- ☐ 児童自立支援施設入所者等
- ☐ 児童心理支援施設入所者等
- ☐ 自立援助ホーム入所者等
- ☐ 短期に養育されている（いた）人
- ☐ ファミリーホームで養育されている（いた）人

2. あなたの家族の人数

(1) 家族全員（あなたを含む）の人数を選択してください。 (1) 人

18歳未満については「はい」を選択するは、施設に入所していた、又は世帯による養育を受けていたことがわかる日付が記載された書類の提出が必要です。

(例) 養育者の例

- 児童養護施設（施設長発行）、児童（児童）等支援施設（児童相談所発行）、児童心理支援施設（児童相談所発行）等
- ※世帯の所定形式（施設等在籍・退所）でも可。

申込者と生計が同一（同じ収入で生活）である主計の人数です（婚姻関係を問いません）。収入が別の生計の兄弟姉妹や祖父母は含みません。また、「⑧-あなたの家族情報」の1で「はい」を選択した場合は自動的に1名と表示されます。

3. 生計維持者（原則父母、父母がいない場合は代って生計を維持する人）について記入してください。
1で「はい」と回答した人については、生計維持者について一部自動表示されます。

※父母がいる場合は、収入の有無に関わらず必ず父母ともに生計維持者として入力が必要で（離婚等により完全に別生計の人を除く）。

(1) あなたの生計維持者の人数を選択してください。

(1) ☐ 0人 ☒ 1人 ☐ 2人

(a) あなたの性別

(a) ☐ 男性 ☒ 女性

(b) 生計維持者①の氏名

姓 名

カナ（全角15文字以内）

(c) 生計維持者①の住所 (c) 郵便番号（半角数字） 住所 1（自動入力）

住所 2（番地以降）（全角文字）

(d) 生計維持者①の生年月日 (d) 年 月 日生

(e) 生計維持者①のマイナンバーを欄頭に提出する準備はできていますか。

(注1) 「その他」を選択した人は、提出できない事情を選択してください。

(注2) 家計調査のため、マイナンバーの提出が必要です。

提出できない場合は、別途毎年所得証明書等の証明書類の提出が必要となります。

☐ 準備できている ☐ これから準備する ☒ その他

(f) 所得（中点時点の状況）について、該当するものをすべて選び、年額を入力してください。

※金額は万円単位で入力してください。（例：1,000,000円⇒100万円）

☐ 1. 給与所得 年額 万円

☐ 2. 商店・農業工業、個人経営 年額 万円

☐ 3. 失業手当 年額 万円

☐ 4. 生活保護費 年額 万円

※生活保護費はマイナンバーより情報収集しますので金額の入力は不要です。該当する場合は2のみを入力してください。

☐ 5. 偶両子当金 年額 万円

☐ 6. 年金 年額 万円

☐ 7. 児童手当・児童扶養手当・特別児童扶養手当 年額 万円

☐ 8. 祖父母等からの援助や養育費等 年額 万円

☐ 9. その他 年額 万円

☐ 10. 2021年1月1日以前から無職

※無職であっても他に収入が存在する場合は、上記の該当する項目を選び、年額を入力してください。

「1. 給与所得」または「2. 商店・農業工業、個人経営」を選んだ人は、あてはまるものを

選択してください。

2021年1月2日以降に就職・転職・退職・開業・廃業しましたか。

☐ 2021年1月1日以前から同じ勤務先（同じ業務形態で事業経営）

※生計維持者のマイナンバーから収入情報を連携しますので収入金額の入力は不要です。

☐ 2021年1月2日以降に就職・転職・退職・開業・廃業

就職・転職・退職・開業・廃業後の年収（見込み）はいくらですか。

（給与明細、税簿、年収見込証明書、離職票等の学校への提出が必要です）。

・給与所得者 給与支払金額合計 年額 万円

・給与所得以外（商店・農業工業、個人経営） 所得金額合計 年額 万円

※中点時点において、複数の勤務先または複数の事業経営があり、1つでも2021年1月2日以降に就職・転職・退職・開業・廃業している場合はこちらに年額（見込み）を入力してください。

※全ての勤務先で退職・全ての事業経営で廃業しており、手当等も受給していない場合は、年額0万円と入力してください。

※海外勤務の場合でマイナンバーを提出できない場合もこちらに年額（見込み）を入力してください（マイナンバー提出不可に係る所定の手続きが必要です）。

※2021年以降海外勤務期間がある方は、マイナンバーを提出した場合でもこちらに年額（見込み）を入力してください。

※生計維持者については、必ず「給付奨学金案内」12ページを確認ください。

生計維持者は、あなたの生計を維持する人という意味であり、原則父母（父母ともいる場合2人とも）としています。無収入の場合でも、生計維持者として入力する必要があります。入力漏れがないか確認してください。

生計維持者は最大2人です。

生計維持者①の入力は必須です。ここで入力した人物についてマイナンバーを提出する必要があります。

原則後に父母が両方（事実婚含む）している場合は、再婚相手を必要とする場合があります。その際は、養子相手の続柄は父

【給付奨学金案内】12ページを必ずご確認ください。

設問「10」で「無職」を選択した場合は、収入情報がないことを表示されません。

「1」と「2」のマイナンバーを提出する必要があります。ただし、貸与奨学金の勤務先が2021年1月2日以前に廃業した場合は、2021年1月2日以前に廃業したことを2022年に読み替えてください。

「7」に年額を入力する生計維持者のように注意してください。

「10」にチェックした場合は、2021年1月1日以前に「10」の両方にチェックを入れると先に進めません。

また、2021年1月2日以降に退職・廃業してある場合は、「10」にチェックを入れます上の「11」又は「12」を選択したうえで下の「10」を2021年1月2日以前に就職・転職・退職・開業・廃業を選択し、年額を入力してください（最初の就職先・退職後のうち、1つでも就職・廃業していない場合は0万円と入力してください）。

※二次採用（既）で申し込む場合は、2021年を2022年に読み替えてください。

生計維持者の勤務先が、2021年1月1日以前から変更がない場合は上のボタンを選択。2021年1月2日以降に変更している場合は下のボタンを選択してください。

※二次採用（既）で申し込む場合は、2021年を2022年に読み替えてください。

生計維持者が海外勤務のためマイナンバーを提出できない場合の取扱いは、機構HP「生計維持者が海外に居住している場合」を参照してください。

海外勤務等により2022年1月1日時点で日本国内に住民票（住民登録）がない場合が該当します（二次採用（既）で申し込む場合は、2023年1月1日に住民票（住民登録）がない場合となります）。

3. 生計維持者について

(1) 生計維持者の人数

生計維持者は原則、父母

(無職無収入の場合でも生計維持者となります)

***貸与奨学金案内P.12、13
給付奨学金案内P.12参照**

(2)生計維持者①

生計維持者1人目の続柄・氏名・カナ氏名・住所・生年月日・マイナンバーの提出についてを記入

※マイナンバーの提出書類については、『マイナンバー提出書セット』の中に入っている書類をよく読むこと

※生計維持者が、**海外勤務をしている場合は**、マイナンバーが発行されていない場合があります。該当する方は以下へ申し出てください。

法政大学 奨学金事務処理センター
03-3945~4497 (4月~6月期間限定開室)

(f)生計維持者1人目の申込時点の所得

※1.給付所得、2.商店・農業工業・個人経営に該当する方はマイナンバーにより収入情報を取得するため、金額の記入は不要です。

2021年1月2日以降に転職・退職や開業をしている場合、マイナンバーにより情報を取得できません。

該当する方は、奨学金案内にて収入状況の確認と計算方法、必要書類について確認した上で、記入すること
*貸与奨学金案内P.32~38参照

生計維持者①の方について
生活保護受給状況と国内居住について
を回答

(3)生計維持者②

生計維持者2人目の
続柄・氏名・カナ氏名・住所・生年月日・
マイナンバーの提出について を回答

※無収入であっても父母ともにいる場合は、
生計維持者②の記入が必要
生計維持者が1人の場合は記入不要

(f)生計維持者2人目の申込時点の所得

※1.給付所得、2.商店・農業工業・個人経営に該当する方はマイナンバーにより収入情報を取得するため、金額の記入は不要です。

2021年1月2日以降に転職・退職、開業をしている場合、マイナンバーにより情報を取得できません。
該当する方は、奨学金案内にて収入状況の確認と計算方法、必要書類について確認した上で、記入すること
*貸与奨学金案内P.32~38参照

生計維持者①の方について
生活保護受給状況と国内居住について
を回答

4.と5.

あなたと生計維持者の資産額について記入
**※資産とは現金・預貯金・有価証券の合計額
 (不動産は対象外)**

◆一人親家庭 ◆父母以外
 P.12.13にて父または母のいずれか
 のみを生計維持者としている場合には、その
 理由について回答

**必要に応じて、事実関係が確認できる
 証明書の提出を後日求めることがあります。**

◆申込者本人
 P.12.13で学生本人を生計維持者としている
 場合に、その理由について回答
 あなた自身を生計維持者にした理由として、父母と不仲であることは認められ
 ません。また、あなたの収入及び奨学金等で生活しているという状況であった
 としても、父母がいる場合は、原則父母が生計維持者となります。

貸与のみの方はP.14

家族のうち学校に在学している人に関して

(1)就学者と就学者前の家族の人数

P.12にて回答した『家族人数』の内、**就学者または、小学校入学前の弟妹の人数**を記入(自分を含む)

***就学者：小・中・高等学校・高等専門学校**

***就学者：・専修学校・大学院に通っている者
(聴講生・予備校生等は含まれません)**

(2)あなたの他に学校に在学している人および小学校入学前の弟妹について

(1)にて回答した**就学者の内、自分以外について全員記入**

スカラネット入力下書き用紙 P.15

貸与

貸与のみの方はP.14

(3)その他の家族の記入

P.12にて回答した『家族人数』の内、

(1)の人数にも生計維持者にも該当しない家族について記入

※父母や社会人として働きに出ている兄弟・姉妹、
生計維持者の扶養に入っていない祖父母を記入しないように
注意してください。

スカラネット入力下書き用紙 P.15

貸与

貸与のみの方はP.14

⑩ー特記情報

1. 年間の授業料

以下枠外学費一覧の所属学部を見て記入

※実際支払っている金額とは異なります。

※免除を受けている方も記載の数字を記入してください。

2.～6. 特別控除を受ける場合、申告が必要です。

控除額は万円未満を切り上げて記入

※控除を受ける内容によって提出書類が異なります。

*貸与奨学金案内P.39参照

学部	授業料
法・文・経済・社会・経営・人間環境・現代福祉・キャリアデザイン	84 万円
国際文化	107 万円 (2年生 54 万円)
グローバル教養	110 万円
スポーツ健康	94 万円
情報科・理工・生命科・デザイン工	118 万円

貸与のみの方はP.14

L-家庭事情情報

奨学金を希望するに至った家庭事情や特に説明を要することを記入

内容は日本学生支援機構の選考材料になります。

具体的な内容で7割以上記入してください。

※**ローンの返済等は、奨学金を必要とする理由にはならないので注意してください。**

※**生計維持者全員が無職の場合には、無職となった年月、理由、現在の生活費の出所を具体的に記入してください。**

貸与

40

スカラネット入力時の注意

給付

貸与

奨学金申込みのためにスカラネットに初めてログインされる方は「〇奨学金の新規申込・進学届の提出」を、初回ログインが完了されている方は「〇ログイン（アカウント情報登録済の人）」をクリックしてください。

● 奨学金の新規申込・進学届の提出

◆ 申込内容の選択

申込種別を選択してください

- ☐ 予約採用の申込 … 進学前に申し込む（進学先で奨学金を希望する）場合
- ☒ 在学採用の申込 … 進学後に申し込む（在学している学校で奨学金を希望する）場合
- ☐ 進学届の提出 … 予約採用の採用候補者に決定済で進学した場合

在学中の学校を選択してください

- ☒ 大学等 … 大学等（大学・短大・高専・専修専門）に在学している場合
- ☐ 大学院 … 大学院に在学している場合
- ☐ 法科大学院 … 法科大学院に在学している場合
- ☐ 短期留学 … 国内の学校に在学中に短期留学をする場合

申込画面へ

○ ログイン（アカウント情報登録済の人）

○ 返還免除内定制度の申込

必ず【在学採用の申込みへ】をクリック
※誤ったところから入ってしまうと、奨学金の申込みが
できずに、無効となってしまうので注意してください。

スカラネット入力時の注意

給付

貸与

奨学金申込みのためにスカラネットに初めてログインされる方は「〇奨学金の新規申込・進学届の提出」を、初回ログインが完了されている方は「〇ログイン（アカウント情報登録済の人）」をクリックしてください。

● 奨学金の新規申込・進学届の提出

◆ 申込内容の選択

申込種別を選択してください

- ☐ 予約採用の申込 …進学前に申し込む（進学先で奨学金を希望する場合）
- ☒ 在学採用の申込 …進学後に申し込む（在学している学校で奨学金を希望する場合）
- ☐ 進学届の提出 …予約採用の採用候補者に決定済で進学した場合

在学中の学校を選択してください

- ☒ 大学等 …大学等（大学・短大・高専・専修専門）に在学している場合
- ☐ 大学院 …大学院に在学している場合
- ☐ 法科大学院 …法科大学院に在学している場合
- ☐ 短期留学 …国内の学校に在学中に短期留学をする場合

申込画面へ

〇 ログイン（アカウント情報登録済の人）

〇 返還免除内定制度の申込

必ず

【在学採用の申込】をクリックし
【定期採用】を選択してください。
正しく申し込みができません。

学種・申込選択

〇 奨学金学種（学校）・申込の選択

1. あなたはどの課程で奨学金を受けたいですか。

大学

2. 申込み奨学金を選択してください。

(1) 定期採用（1次又は2次）

☒ 現在在学している大学での奨学金を申込みことができます。

(2) 専攻奨励採用（給付奨学金のみ）

☐ 生計維持者に特定の事由が生じたことで専攻奨励し、急変後の収入状況が住民税情報に反映される前に支援を要する場合のみ申込みことができます。

学校で申込資格を確認してください。

(3) 緊急採用・応急採用（貸与奨学金のみ）

☐ 過去1年以内に生計を維持している人が失職、破産、倒産、病気、死亡等又は火災、風水害等により専攻奨励が生じた人のみ申込みことができます。

学校で申込資格を確認してください。

次の画面に進みます。下の「次へ」ボタンを押してください。

次へ

スカラネット入力後の注意

給付

貸与

口座情報を入力した後は確認画面が表示されます。

(イメージ画像)

入力完了後、「奨学金申込情報一覧」が表示されます。

入力に間違いがないか再度確認してください。

■ 特に確認する項目

- ☐ 氏名・住所・電話番号
- ☐ 学籍番号(7桁)
- ☐ 生計維持者(父母)の氏名・住所・電話番号・生年月日
- ☐ 奨学金振込口座

奨学金申込情報一覧

あなたの入力した内容は以下の通りです。

1. 記入内容に間違いがない場合は下の「送信」ボタンを押してください。「送信」ボタンを押した後は、送信番号を確認してください。

2. 記入内容を訂正する場合は記入内容を訂正するボタンを押してください。

確認画面の表示内容

既定等を受け、提出しました。

「マイナンバー通知書」に印字されている申込ID: 000120

基本情報	
あなたの氏名(漢字)	梅田太郎
あなたの氏名(カナ)	メコウタロウ
生年月日	平成13年7月7日
国籍	日本国籍以外
在留資格	定住者
在留期限(満了日)	2021年3月31日
金銭状況	あり

※一部情報訂正ボタン

■ 重要事項確認(必須)

奨学金の申込みにあたって、以下の事項を全て確認し、理解している場合は「はい」、理解していない場合は「いいえ」を選んでください。

全ての事項を確認した後、下の「送信」ボタンを押してください。

奨学金における確認事項	はい (理解している)	いいえ (理解していない)
1. 奨学金の返還義務や滞学が返還義務を発生させること	はい	いいえ
2. 奨学金の返還を証明すると、返還金が滞ります。返還が滞ると滞学が返還義務を発生させることがあります。	はい	いいえ

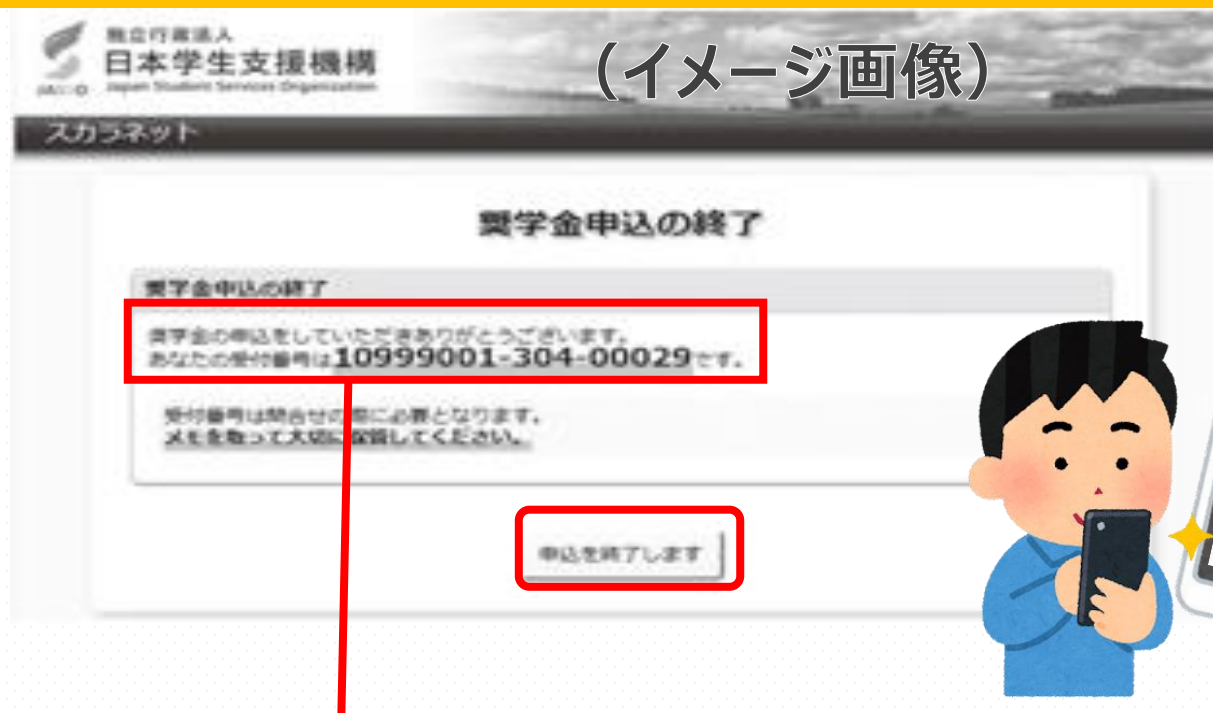
送信

間違いなければ送信をクリック

スカラネット入力後の注意

給付

貸与



送信後、「**受付番号**」が表示されます。

携帯で写真を取るなどして、画面を保存し、
番号をスカラネット下書き用紙のP.1に記入してください。

※一度画面を閉じてしまうと、受付番号は再表示されません。
奨学金窓口でも調べることはできないので注意してください。

給付奨学金の家計基準について

進学資金シミュレーター

所得要件の基準にみたすかどうか日本学生支援機構のホームページにて確認できます。
※試算によるものであるため実際に申し込んだ場合の結果とは必ずしも一致しません。



申込む上での注意点

家計基準について

- ・住宅ローン等の負債については、資産として取扱いません。よって、ローン残額を資産から差し引くことはできません。
- ・預金通帳や資産額に関しては、証明書類は必要ありません。ただし、給付奨学生として採用後、万一虚偽の申告が判明した場合は、支給した額を最大 4 割増で返金いただくことがあります。
- ・両親がいるにも関わらず、ひとり親世帯であると偽って申請・2000万円以上の資産があるにも関わらず、資産がない者と申請等これらの不正がある場合も、支給した額を最大 4 割増で返金いただくことがあります。

支援区分について

- ・第Ⅰ区分～第Ⅲ区分や支給額は、毎年審査を受けることになり、支援区分や支援額が変更になったり、支援の対象外となったりすることがあります。